

これから40年間で公共施設の40%削減を目標 10年後には公共施設の9割が老朽化に

沼田市では、集会施設やスポーツ施設、学校などの公共施設341施設、道路や橋、水道施設などのインフラ施設を今後40年間すべて維持した場合、約3,031億円、1年当たり約76億円の経費が必要となる試算と公共施設の保有量（延べ床面積）を40年間で40%削減するという「沼田市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

計画期間は今年度から40年間で、40年後には人口が22,948人と予想し、高齢化率は45.8%となる見込みとし、人口減少、高齢化の進展、公共施設の維持管理費の増大から公共施設の再編に取り組んでいくとしています。

吹割溪谷と吹割の滝のしっかりとした保存と活用を

大東議員は3月定例市議会の一般質問で、吹割溪谷と吹割の滝の保存と活用、旧利根村が購入した土地の整備と活用について質問しました。

吹割溪谷と吹割の滝の保存と整備について教育長は、「今後予定している第3次保存管理計画の策定のなかで、文化庁や県、地域の人たちの意見も聞きながら検討していきたい」と答えました。

誘客と活用について市長は、「利根町観光協会などと連携を図り、観光客のニーズを的確に捉え、誘客につなげたい」と答えました。

旧利根村が購入した土地について市長は、「第3次保存管理計画との整合性を図りながら、景観保護保全を視野に検討したい」と答えました。



真田丸展の総入場者数は175,866人



3月31日に閉幕した「上州沼田真田丸展」の総入場者数は175,866人となり、当初目標の150,000人を上回り、「花燃ゆ」のドラマ館の入場者数145,936人も上回りました。

閉幕セレモニーで市長は、入場していただいた人に感謝するとともに「再度訪れて、沼田のファンになってほしい」とあいさつしました。



経箱をかついで家々をまわる「沼須一切経」

沼須町の一切経は、宝暦9年（1759）に小林多左衛門が発起人となり、300両の寄付をあつめ、京都から求めたものです。

古くは疫病除災などに箱を持ち出し、祈願してきましたが、今では砥石神社の祭りに合わせ、経箱をかつぎ家々をまわります。



2017年4月9日

NO. 519

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

こんにはは 大東のぶゆき です



今回の大阪高裁や広島地裁の決定では、規制委員会が原発の運転を認めた規制基準について、これまで解明された「事故の教訓」や「最新の科学的・技術的知見」にもとづくと持ち上げ、「不合理なものではない」と言い切り、広島地裁に至っては、国に追従するだけでなく、九州電力川内原発の運転を認めた福岡高裁宮崎支部の判断に従うとし、裁判の独立性さえ放棄するありさまです。

こんにはは。大阪高裁と広島地裁が相次いで、関西電力高浜原発3、4号機の再稼働と四国電力伊方原発3号機の運転継続を認め、二つの決定はいずれも国の原子力規制委員会が規制基準に基づき運転を認めたことを「不合理がない」と断じました。国が運転を認めてきたから、裁判所として運転の是非を判断する必要がないとなれば、国の追従機関というしかなく、これでは国の原子力規制委員会審査そのものに「安全神話」のお墨付きを与えるだけです。

続ぶらい散歩 めまた道 川田地区あれこれ 特別編その十

円珠尼と薬師堂

円珠は、和歌が縁で帝に召されとの言い伝えが残されています。

帝からある時、「石の衣」という題で和歌をつくるように言われ、円珠はすぐに「仰せならば 石

の衣も縫うてみん 真砂の糸を 縫りてたまわれ」と詠み、帝はびっくりし、ますます円珠を寵愛にしました。

帝に大事にされる円珠に女官たちは嫉妬し、嫌がらせがひどくなり、円珠は川田に帰ってきました。

その時、円珠は帝の子を身ごもっていてしばらくして男の子が生まれましたが、3歳の時に亡くなってしまい、円珠は仏門に入り、円珠尼となり、亡くなった王子の冥福を祈っていました。

下川田町に残る薬師堂で円珠尼は病気で亡くなり、お堂の前には、円珠が化粧の時に使ったと伝わる鏡池が今もあります。

